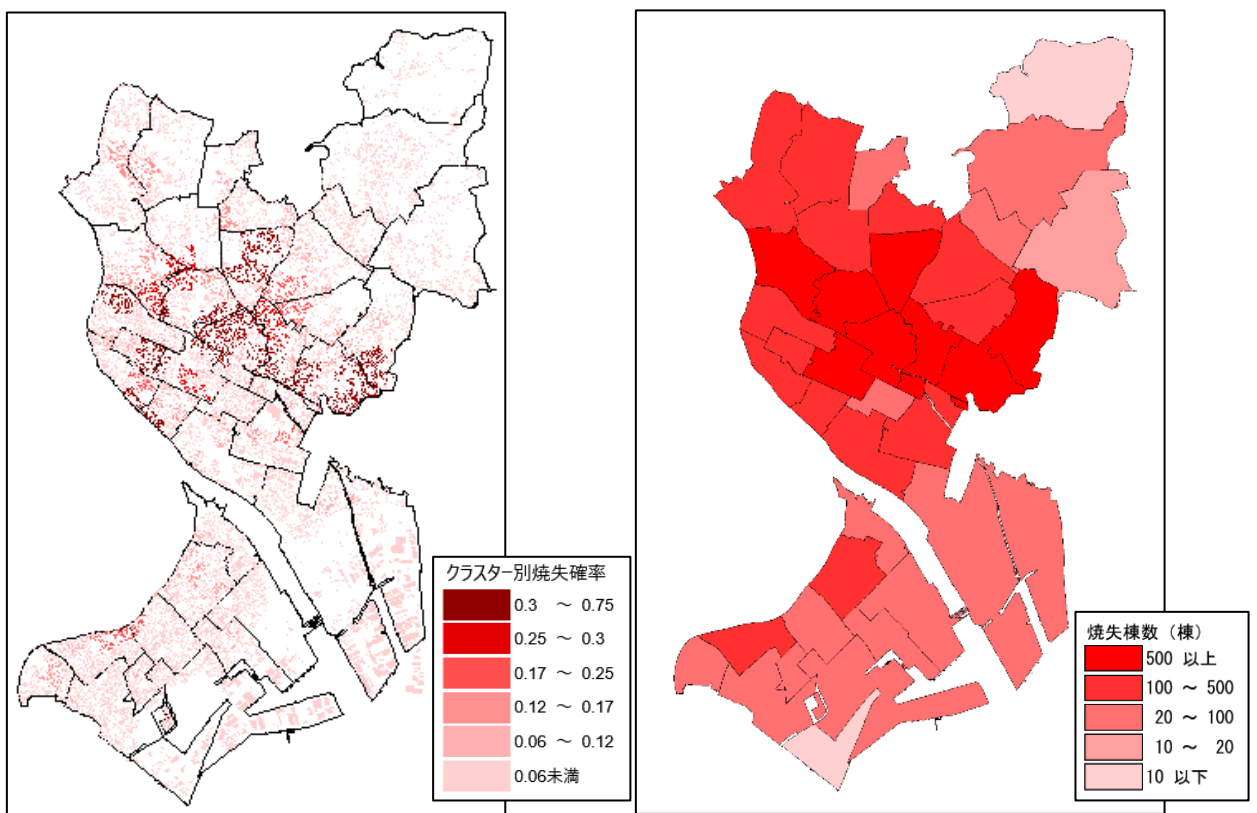


<火災による被害>

本市全域で約77件の出火が想定され、木造建物被害の危険度が高い密集市街地での出火危険が高くなっている。

建物延焼危険度は、風向：北北西（本市における年間風向で最も多いもの）、風速：6 m（強風時として、本市における年間の平均風速3 mの倍の風速）を想定しシミュレーションを行っており、焼失棟数については、初期消火と公設消防等による消火活動によって消火できずに残った火災（残出火）が延焼拡大し、自然鎮火するまでに焼失する棟数である。強風時には10,000棟を超える焼失が想定されている。



クラスター※別焼失確率

(※最終的に連坦して燃え尽きる建物群)

焼失棟数

※この想定結果は、一定の条件において計算された結果であり、実際に地震が発生した場合、必ずしも同様の結果になるとは限りません。